

## アイデアバッグ

運営担当

### 実証要項より

9. 競技の課題および課題製作上の注意点について

#### 昨年度

③『バッグ』について。

- ・裏地は付けず、一重仕立てとする。

#### 今年度

- ・裏地は付けず、一重仕立てとする。（縫い目審査を行うため。）

#### 昨年度

④デザインの工夫は『バッグ』本体とする。

- ・入れるものの使用目的に合わせて、強度が耐えうる縫い目および縫い代の始末をする。

#### 今年度

④デザインの工夫は『バッグ』本体とする。

- ・入れるものの使用目的に合わせた布選びや、強度が耐えうる縫い目および縫い代の始末をする。

#### 昨年度

⑦型紙の作成は事前に行い、当日の競技は『布を整え、型紙の配置』から始めることができるようにする。

#### 今年度

⑦型紙の作成は事前に行い、当日の競技は『布を整え、型紙の配置』から始めることができるようにする。（しわになりやすい布を利用する場合は持ち運び方を工夫する。当日にアイロンがけが必要な場合は、競技時間の中で行う。）

#### 昨年度

⑨当日製作した『バッグ』を使い、実際に入れるものを用いて2分程度の発表会を行う。その際に利用方法とものづくりの視点についてスピーチする。

#### 今年度

⑨当日製作した『バッグ』を使い、実際に入れるものを用いて2分程度の発表会を行う。その際に利用方法とものづくりの視点についてスピーチする。（掲示物を利用する場合は模造紙1枚程度とする。※ただし掲示物は評価対象ではない。）

#### 昨年度

⑫製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書きをして、A4カラー印刷で8枚提出する。（提出したレポートは審査員により事前に審査を行う）

#### 今年度

⑫製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書きをして、A3カラー印刷（片面）で10枚提出する。（提出したレポートは審査員により事前に審査を行う）